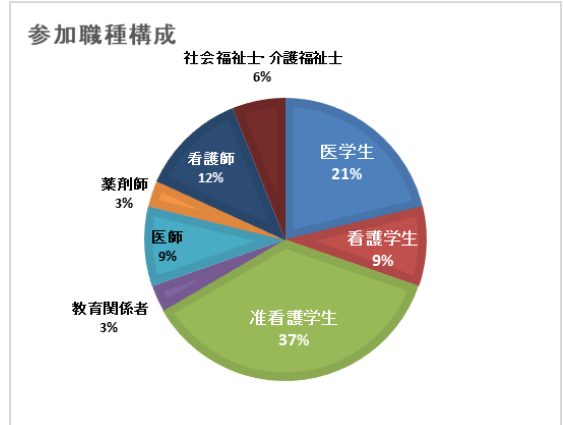


実施日時: 令和元年9月1日(日)13時30分～17時00分
 テーマ: ～石巻のがん療養を考える 医療・介護の多職種連携～
 開催場所: 石巻市立病院 3階 講堂
 参加者: 33名



医学生7名 看護学生3名 准看護学生12名
 教育関係者1名 医師3名 薬剤師1名
 看護師4名 社会福祉士1名 介護福祉士1名

◆講話

- 1 「緩和ケアの現場から～意思決定のプロセス～」
 石巻市立病院 緩和ケア内科部長 日下 潔
- 2 「緩和ケア病棟 患者・家族の支援について」
 石巻市立病院 緩和ケア病棟副看護師長 木村佳世子
- 3 「治療と社会生活の両立～当事者の立場から～」
 特別養護老人ホーム万葉苑 介護支援専門員 渡部 喬子

◆グループワーク・まとめ

グループワーク「石巻のがん療養を考える～医療・介護の多職種連携～」
 ファシリテーター 東北医科薬科大学医学部 准教授 住友 和弘



石巻市立病院
副病院長 赤井 健次郎(挨拶)



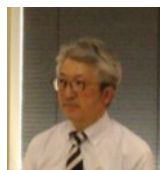
石巻市立病院
緩和ケア 内科部長 日下 潔



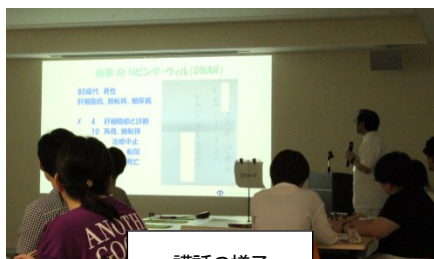
石巻市立病院
副看護師長 木村 佳世子
(緩和ケア認定看護師)



特別養護老人ホーム万葉苑
介護支援専門員 渡部 喬子



東北医科薬科大学医学部
准教授 (地域医療学)
住友 和弘



講話の様子



石巻市健康部
包括ケアセンター所長
長 純一 (講評)



グループワークの様子

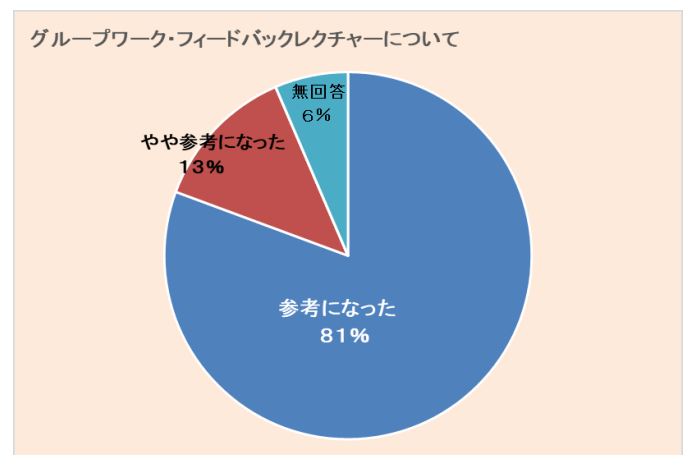
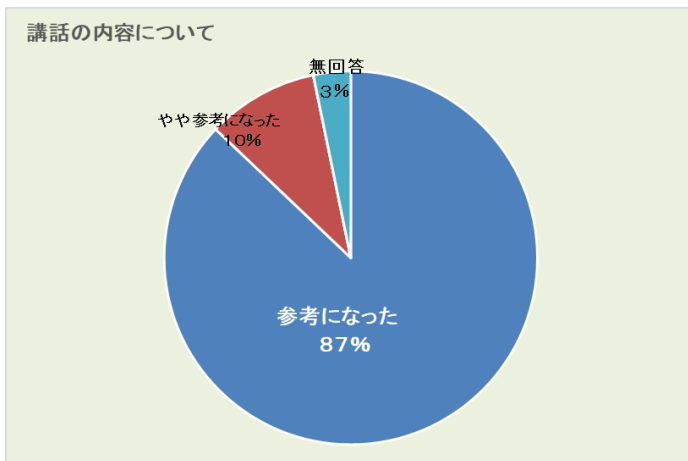
◆アンケート回答

1 アンケート回答者

参加者33名中アンケート回答者31名 有効回答率97%

2 講話・グループワーク・フィードバックレクチャーの内容について（抜粋）

- 内容が充実していたので時間はあまり長く感じませんでした。
- 実際の在宅の現状を知ることができた。
- 思っていた以上に勉強になりました。勇気を出して良かったと思いました。
- ヘルパーの方など福祉の方の参加が多いと良い（介護側の意見をききたい）
- グループのみなさんが、それぞれの意見を出してくださり、現場の医師からのアドバイスもあり、大変勉強になった。
- グループワークをやってみて患者さんの思いや家族の思いを聞くことで、自分がどんな看護と連携があるのか考えることができた。緩和ケア在宅医療についても興味を持つことができた。
- 様々な職業や学部の方たちの意見を聞くことができ、グループワークなどを通して多くを学ぶ事が出来た。
- みんなの意見を聞いて患者さんとの関わり方が分かった。



3 「地域医療福祉セミナー」受講後の地域医療福祉のイメージについて

